

り難いのである。自分で言ひあらはせない心持ちを、親愛の言葉で言つて貰ふのが嬉しいのである。

幼児の謝辭は殊に簡單がいゝ。大人のやうな言葉を教へ込んで、言はせるのはよくない。殊に、別れを悲しむといつたやうの言葉を言はせるのは、そうして來賓席の婦人達を泣かせるやうなことは、嚴禁である。保育修了式全體を通じて、感傷は禁物である。

式は式として、その前後を以て、先生との個々の親愛の言葉は、最も大切である。殊に子ども喜びを喜んでやる先生の態度こそ、その日の花である。又修了は幼児であるが、此の日、親達殊に母親のためにも、意義ある日にしたい。ところで、かうした喜びの日、殊に教育上の喜びの日に於て、なぜ喜ばしいかを語るに就て注意を要することがある。どうかすると、かういふ時に個人主義的の言葉が出やすいからである。勿論、その子のため、その家のため、目出度い日に相違なく、その心もちを拒けるのではない。しかし、かういふ時にこそ、國の意識が強く出なければならぬ。此の喜びも國のお蔭であることを、そして此の喜びも、國のためであることを、しつかり明らかにしなければならぬ。殊に、之れから進む國民學校の本旨に基いて、そこへ入學するのは自分のためでなく國の爲であることを明らかにし、その爲に幼稚園を出たことが、國の爲であつたことを、その日には明らかに出来るのである。幼児に對して、そうであると共に、否、それ以上に強く、親に此の意識をもたせなければならぬ。此日を母親に意義あらしめたいと言つたのは、此の意味である。

結び、羨げられた子。

生活訓練一ヶ年。素より不十分な説き方であつたし、殊に、事項に就て偏つてゐたかとも心配する。しかし、羨は個々の羨げに終始するものでなく、ごこの點からでも、全體を羨げてゐる譯である。幼稚園の羨げも、個々の事項に就て、どれだけ徹底完成したかはなか／＼むつかしい。たゞ、全面的に「羨げられた子」であつてほしいのである。その子の性格そのものが羨げられた性格であり、従つて、之れからも、更に高い羨げを正しく受け得る性格であつてほしいのである。先生方の此點の御苦勞を謝し、羨げられた幼児達の幸福を思つて、此の稿を終る。

### 自由遊戯

上 遠 文 子

桃のお花も咲きはじめました。ふつくらした桃の蕾にも春の感觸を味ひます。野に山に小さい芽が顔を出し始め子供達もぐんと一ひび春の空氣を思ふ存分吸ひ込んでみませう。

開戦ごっこ 人数が多い程面白い遊びです。二手に分れ、それ／＼お庭の木に陣をきめて陣ざります。「開戦」といふ兩軍の勝どきで兩軍互ひに攻めよめます。どんどといつて敵軍とあたると互ひにじやんけんして、負けたら敵軍にとらはれる。又その場合負けたら鬼になりつかまへ、陣に逃げ込むと助かる。即ちその間につかまらぬ様にすばやく逃げ、捕まれば捕虜になるといふのもよろしいのです。味方が捕虜になつた場合、直ちに助けに出かけますが、敵は捕虜をとられまいと、防備おさ／＼おこたりま

せんから、種々と方向を工夫したり、策戦を練つて助けにゆきま  
す。此處に言ふにはれぬ面白味があるので私達でも目の色をか  
へてしまひます。唯捕虜の手又は體に觸れ、ば助かつた事になり  
陣にもどります。捕虜がどん／＼増えて、みんな捕虜になつてし  
まふと負けになります。その他、後捕りといつて背中をぼんとた  
たかれるとその人は、じゃんけんなしで捕虜になつてしまふとい  
ふ規則も入れますと益々遊びに緊張して、うか／＼油断してゐら  
れなくなり一段と愉快です。陣地を守るもの、攻撃にゆくもの、

味方を助けにゆくもの、斥候にゆくもの、それ／＼が協力して敵に  
あたらぬと、何れか一人でも油断してゐますとすぐ形勢が傾いて  
來ます。幼児の協力を養ふによい遊びの一つであります。

まだ／＼と考へておりましたのに、もうこの自由遊戯も一年の  
長い期間續けた事になりました。保育案に沿つて、善段我々が幼  
兒と共にしてゐる事を一通り考へてみました。どん／＼と楽しい  
遊びを案出して幼児の生活をより楽しく、より豊富にしてあげね  
ばならぬわけです。がその一歩前に今まで訓れ親しんで來た遊び  
なある違ふ方法で違ふ方面より入るといふ事も面白い事ではない  
かしらと考へてみました。また、私達の目の前にゐる幼児達は、  
これからの日本、これからの大東亞を背負つて立ち、あの忠勇な  
る皇軍の後を受継ぐ、大事な少國民なる事は云ふまでもありませ  
ん。と同時にその少國民を私達は、重大な任務を遂行出來る立派  
な少國民に、今の時より鍊成せねばならぬと考へねばなりません。  
日頃の鍊成が大いに花を咲かせた皇軍將士の事も誌上を通して耳

にいたします。小さい幼児達にはそれだけの鍊成をし、充分に基  
礎をしつかりと、作りあげておきたいものであるといふ理想も戰  
時下幼稚園保育の一つの目的ではないでせうか。

優美な服装に、童歌にあはせて、遊びたわむれてゐた幼児達を、  
その自由遊戯に折込みしつかりと體を鍊成したいものでありま  
す。玉も磨けば光輝を生じます。鍊成されぬ幼児、鍊成された幼  
兒が、それ／＼生長し召された時、充分に御奉公出來るのも後者  
の方が大といはれると信じます。將來立派に御奉公出來る幼児を  
作りあげる事こそ今の私達の任務の第一であると考へ、此處に自  
由遊戯も一考したいと思ひます。お話が前後致しましたがもう一  
つ考へてみたい事は、自由遊戯に入らぬ幼児をどうしたらよいか  
といふ事でありませう。

一、入園當初、團體生活に入れなく、と同時に自由遊戯にも  
入れぬ子供。

二、幼稚園生活になれて來てもお友達と遊ぶ事皆のする事を  
ぼかんとみて一日を過す子供。

三、遊ぶ事は好むがお友達を好まず先生とだけで遊ぶのを好  
む子供。

大體大きくわけるとこの種の子供です。然しこれは私のぶつか  
つた子供で又、他の幼稚園には他の種の御子さんも多々ある事と  
存じますから、私の經驗記録とでもして御讀みいただければ幸で  
す。

先づ「一」のお子さんは御家でお友達もなく靜かに遊んでゐたお  
子さんが幼稚園に來てびつくりしお母様の袖につかまつて離れぬ

様なお子さんに多い傾向です。こういう方は比較的やり易く、馴れればどん／＼遊べるお子さんですから、私共は早く、遊びの面白さを知らせ馴れさせる様につとめる事が大切です。入園最初ですから、家庭の延長の様な自由遊戯を考へて導く事です。

「二」の場合。これには、(1)大人つぼくて無邪氣に遊ばぬ子供、(2)氣が弱くお友達においてきぼりをさせられる子供、(3)用心深く、自信のつくまでは遊ばぬ子供。とあります。(1)のお子さんは年寄育ち又大人の間の育ちのお子さんに多く、そんな事してもつまらない、馬鹿くさい、といふ氣持からで、かういふお子さんは一般に智能が進んでゐますから、種々理屈をつけて自分でその遊びをつまらなくしてゐるのです。ですから、淡い子供だましの遊びでなく頭も使ふ高級な遊びを好むわけです。先づ體力の遊びから入つてゆくのはどうでせう。それも他の人におとらぬそのお子さんに出来る遊びでないと、負ける事に不快を感じて嫌になりますから。そしてお友達との親しみを作ります、と日に／＼自由遊戯へ自分から飛込めるお子さんになります。(2)のお子さんは先生が手を取り、お友達の仲間に入れてあげる様に心がける事により解決がつきせう。(3)の場合。かういふお子さんは、「遊びませう」と誘導的に種々手をかへ、品をかへても頑強に嫌とはねのけられます。自分がもうよしと見通しがつくまでは仲々出馬しませんからまあ時の来るのを待つのです。しかし、いつも、誘ふ事を忘れてはなりません。

「三」の場合。は我儘から来る事です、お友達が自分の自由にならぬので遊ばないのと、先生を独占したい氣持からとあります。

前者は、先生がのまれてはいけませんから、お友達と團體的に遊ぶ機会を多く作り、その快感を味はせ、お友達をしりぞけた場合などはきびしい位、いさめねばなりません。後者は、先生と二人で遊んでゐる所へお友達でも入つてくると、すゝつといなくなつてしまひます。さういふお子さんには、遊びに充分興味を持たせ、お友達が入つた事により興味を薄くさせたりするのはいけない、却つて面白い事を味はせる機指導者が導けば次第になほると思ひます。かう見ますと、全然遊びの嫌ひなお子さんはない筈です。ですから、ぼんやりとお部屋の出口に立つてゐるお子さんを、はやく楽しい幼児の自由遊戯に入らせ、協力した樂しみ、協力したよろこびを味はせる様心がけたいものであります。

## 遊 戲

古澤 靜子

音楽と結び、體力の基調となり、その中に個人として全體として繋げられなければならないものを持つた遊戯でした。

時節にのぞんで、「春」「たんぽぽ」「櫻のトンネル」を考へてみましたが、國民學校への喜びと共に、なつかしい幼稚園でのおしまひの時間は、萌え出る若芽の様な潑刺とした身心の躍動であると思ひます。

春 日本幼稚園協會發行、最新作曲幼稚園唱歌集所載。  
隊形は一列圓形。

「前奏」 そのまゝ聞く。